

これからのごみ減量に関する取り組み

一般廃棄物処理基本計画 「さっぽろごみプラン21」の 改定に向けて

札幌市廃棄物減量等推進審議会が始まりました

ごみの減量目標などを定めたごみ処理に関する市の基本計画「ごみプラン21」。策定から5年を経た今年、その改定について市長の諮問を受けた「札幌市廃棄物減量等推進審議会（会長・吉田文和 北海道大学大学院教授）」が始まりました。学識経験者をはじめ、経済団体やNPO（民間非営利団体）の代表ら20人で構成する審議会では、ごみゼロ会議の報告も引き継ぎつつ、札幌のごみ問題全般について広く議論していきます。

市長の 諮問内容

- 「ごみプラン21」をどのように改定するべきか
- 家庭ごみの有料化について、実施の是非を含め、市の施策の中にどのように位置づけるべきか

審議会では、活発な市民議論を経て、「ごみプラン21」の改定について年内に市長へ答申を提出する予定です。一方、家庭ごみの有料化に関しては、より慎重な審議が求められることから、中間報告をまとめた上で、その後の進め方を決める予定です。

審議会の 重要な論点

家庭ごみの有料化

ごみの減量に有効かどうか、
幅広い角度から検討していきます

家庭ごみの有料化は、ごみを減らす動機づけとなるだけでなく、ごみの量に応じた公平な負担も実現する制度と言われています。しかし、その効果は都市のさまざまな条件によって左右されることから、審議会では、有料化が札幌市においても有効な方策となり得るかどうか、他都市の事例はもとより、皆さんからの多くの意見も踏まえて、幅広い角度から検討していく考えです。

具体的な 取り組み

- 意見交換会の開催
- 関係者の意見を聞く公聴会の開催
- 市民意見の募集
- 基礎調査の実施（他都市事例の検証など）
- 市民意識調査の実施
- 出前講座の活用、市長タウントークでの説明

市長から

ご意見はこちらへ

皆さんには、これまでも、ごみの分別やリサイクルの推進などにご理解とご協力をいただけてきました。17年度は、さらに一歩踏み込んで、「ごみそのものを減らす」という観点で、私たちと共に知恵を絞り、行動していただきたいのです。

まずは第1回を読んだ感想や意見などをお寄せください。皆さんの声を参考にしながら、今後、このシリーズを実りのある内容にしていきたいと考えています。

送付先

環境局環境事業部計画課
〒060-8611 中央区北1西2市役所内
FAX 218-5108 Eメール seiso@city.sapporo.jp
※住所・氏名・年齢・電話番号を記入してください。

きめ細やかな分別に努めている方も、
不要な包装を断わるよう心掛けている方も、
今一度、ごみ減量の「原点」を
振り返ってみてください。

第1回 なぜ、ごみ 減らさなければ

埋め立て地の延命を図るため

本市における埋め立て地の余命は、
現在、15年前後と推定されています。
その後、新たな埋め立て地を
市内に確保するのは、
大変難しい状況にあります。

情報共有を推進する

【トピックス1】ごみ減量のことがよく分かる「さっぽろごみゼロニュース」。17年度は年3回発行し、区役所・区民センターなどで配布する予定です。

【トピックス2】今月から、本誌「お知らせ」の最終ページに、毎月、ごみ減量に関する「ひとロメモ」を掲載します。

販売店、市民、札幌市が協働して、 新たな仕組みづくりに取り組む

【トピックス】昨年10月から、市内約230店舗の協力により、蛍光管のリサイクルを始めています。

